

## 式辞

暖かい春の日差しが輝く季節が巡ってきました。本日ここに、令和二年度、第百二十回安来高等学校入学式を挙行できますことを、大変うれしく思います。安来高校は今年、創立百二十年目を迎えます。伝統ある本校の新たな一員として、ただいま入学を許可しました百二十八名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。安来高校普通科第七十四期となる皆さんの入学を心から歓迎します。

これまでお子様を温かく支えてこられました保護者・ご家族の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。新たな決意を胸に秘めたお子様の凜とした姿に感慨もひとしおのことと思います。

今年はコロナウイルス感染拡大を防止するため、在校生や本校を応援くださる来賓の方の参加を控え簡略化した形での式の挙行となりますが、入学を祝い歓迎する気持ちに変わりありません。

さて、新入生の皆さん。今日から高校生活が始まります。皆さん一人一人が、これからの三年間にさまざまな期待を抱いていることと思います。私も同じです。皆さんの高校生活に、とても期待しています。その期待を込めて皆さんに二つのことをお話します。

一つ目は、本校の教育目標「きびしく」「高く」「美しく」についてです。これは昭和三十八年に掲げられた「きびしく学べ、高く思え、美しく生きよ」のスローガンからはじまり、現在では、きびしく自らを律し、目標と信念を高く持ち、美しく豊かに生きる、の教育目標として我々安来高校での教育の根幹をなすものとなっています。

高校生の本分の一番目は学習であることは間違いありません。が、それだけでは充実した高校生活とはなり得ません。部活動や地域での活動など様々な活動を通して、他者と協力して一つの目標に向かう姿勢や異年齢の多様な人々との関わりなど、豊かな人間性も育んでもらいたいと思います。とはいえ時間には限りがあり高校生活は忙しく、三年間はあっという間に過ぎていきます。しかし学習活動と部活動や地域活動は相対するものではありません。部活動などで培った団結力・集中力・達成感や限られた時間を使って勝利を目指す姿勢は、学習活動においても活かされるものです。運動部の生徒が三年生で部活動引退後伸びるという話もよく聞かれるところです。文武両道を成すために、限られた時間を有効に使うには、まずは自らを律し、自らの目標を高く設定し、今何をなすべきか、なさざるべきかを考え行動することが必要になり、まさに教育目標がその指針に

なるものと思います。ぜひ質の高い文武両道を目指してください。

二つ目です。今年のスローガンを「挑戦・熱意・創意・誠意」としました。高い志を持ち自分の夢に向けて挑戦してください。明治維新で多くの人材を輩出した松下村塾の吉田松陰の言葉に「立志は万事の根源なり」というものがあります。志は人が行動するための基盤です。「自分はこうありたい」という心の持ち方こそ「志」であり、志のある人は生き生きと生活しています。人は志を持ち、その実現に向けて努力する過程において感動的な体験をしたときに、生きがいを強く感じるものです。将来の目標が定まれば、それを実現させるために、今、何をどのような方法でやらなければならないかという、自らの課題とそれに取り組む手立てが見えてきます。志を立てたらその夢に向かって熱意を持って挑戦を続けてください。その過程で創意工夫をこらし誠意を持って取り組めば、必ず何か得られるものがあるはずです。例え思うような結果が得られなくても熱意・創意・誠意を持って取り組む姿は、周りの友人や先生からも応援され、良き友、良き師との出会いにつながり、その出会いは一生の宝となることと思います。熱意・創意・誠意を持って挑戦を続け、一生

の宝となる豊かな人間関係を築いていってほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様にお問い合わせ申し上げます。縁あって私どもは、向こう三年間、大切なお子様のお世話をさせて頂くこととなりました。お預かりしたお子様の希望実現に向けて全力で応援・支援していく所存でございます。そのためには、学校と保護者の皆様との密接な連携と相互信頼が不可欠です。各ご家庭におかれましても学校の方針をご理解の上、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新入生の皆さん、ようこそ安来高校へ。きびしく・高く・美しく、ともに頑張りましょう。

令和二年四月九日

島根県立安来高等学校長

柳樂 眞悟